

考えたことないかもしれません

子供部屋が必要だと思っていないですか？

お家を建てる方で多いのは、小さなお子さまをお持ちで、世帯主様は30歳代の方です。お子さんが赤ちゃん～幼稚園児くらいのお父さん、お母さん方です。

もちろん、そこで良く出る話が、子ども部屋のこと。どの方も決まって、子ども部屋を欲しいとおっしゃるのですが、私達がよくお話をさせていただくのは、

子ども部屋は何年後に必要なのか？
ということです。

いきなりお聞きします。あなたご家族は寝る時は子どもとは別？それとも仲良く“川の字”で寝ていますか？

私にも2歳の息子がいますが、夜眠たくなれば私にベッタリで…。私がいないと寝ません。子供は暗くなれば、大好きなお母さん、お父さんと一緒に、安心なのです。

昼間、お母さんそっちのけで、お友だちと遊ぶのが大好きなお子様でも、布団に入る時には「ママ、絵本読んで…」とか、「おかあさん、一緒にお布団に入って…」などとおっしゃいませんか？

ほとんどのケースが子どもが小さいうちは、布団を敷いて、家族全員で寝ているのではないのでしょうか？

では、一緒に寝なくなったら子ども部屋を与える？

学校から帰ってくれば宿題がありますよね？あなたなら宿題はさっさと部屋に行って一人ですればいいと思いますか？それともあなたの目の届くリビングのダイニングテーブルなどで宿題をさせますか？私は後者なのですが…。

もちろん、遊ぶのも目の届く範囲にいて欲しいのですが…

では、あなたが後者の場合、子ども部屋は何の為にあたえるのでしょうか？確かに山のようなおもちゃを片付けておく部屋としては良いかもしれないですね。でも、やっぱりリビングにおもちゃを持ってきて遊ぶんですよね…。

子ども部屋を用意するにしても、しないにしても、部屋を持つことになったお子さんの気持ちをちゃんと考えてあげてくださいね。

ただ、お部屋をつかったから、子ども部屋はオシマイではないんです。

あるときはご両親とべったりと……。あるときは一人で。あるときは、お友だちとワイワイ。年齢にあったお部屋の使い方をよく考えておきましょう。とにかく、子ども部屋の作り方って、とっても大事で難しいですよって事なのです。

本当の子どもたちの為の個室は、何年後に必要なのか？
今年の子どもに、本当に個室は必要か？

プランづくりの時にこういったことを考えておくと、あまりあわてることはありません。家族にふさわしい間取りを、じっくり考えてみてはいかがでしょうか？

風邪の通り道

家をつくる時、間取りや外観デザインにみなさんこだわりますよね？家の全体を決める話ですから、それは当然の事です。

でも、皆さん「風の通り道」をあまり考えられないんですよね。

現代では、エアコンや床暖房等の空調が欠かせません。家の気密性を高め人工的に室温を調節するのが当たり前になっています。しかし、空調や換気のシステムなどを考えておかなければ、カビやダニ、ほこりなどに悩まされることにもなるんです。

そもそも換気とは、「汚れた空気を家の外に出し、外から新鮮な空気を取り入れる」です。その時に、“湿気”も一緒に外に出されるので、ダニやカビを防ぐのに大切な役割を果たしてくれるのです。

その換気に大きく関わるのが「通風」(風の通り道)なのです。

しかし日本の過密な住環境では、「自然の心地よい風を採り入れる」ことは、ハッキリ言って難しい！隣家との距離が極端に少ないために、「窓の位置」も自由に決められない。防犯やプライバシーの問題で、道路に面した窓を開け放っておけないなど色々と問題があるのです。

効率良い換気の基本は、風の「入口」と「出口」をつくることです。大きな窓をひとつ作っても通風の助けにはなりません。

ベストなのは「入口」の窓に対面する位置に「出口」の窓を設けるのがベストです。

窓と窓の距離が離れていればいるほど、風は大きなうねりができ、広い範囲で湿気を追い出すことができますようになります。

恒常風がどちらから吹くのかを意識して窓を作っておくと夏の湿度が高い時期に、効果を発揮します。私達の関西では、西風と言われていますが、地域によって微妙に違います。

また、対面に窓が取れない場合、上下の位置関係で、3方に開口部をとると、温度の高い空気は、上の方へ抜け、床の上を滑るように抜ける風は、床や畳の湿気を取り去ってくれます。

開閉式の天窓(トップライト)は、明かるいだけではなく、通風口として大きな役割をはたしてくれるのです。

私達は共働きだから昼間いないし、換気なんてできない！と思っていませんか？

実は最近では温度センサーがついていて夏の暑い時は自動で天窓が開き、温度が下がると自動で閉まるというトップライトもあるんですよ！

部屋だけではなく、バスルームや納戸など、湿気がこもりやすい場所がありますよね？
そんな場所には、ガラリ付の建具を用いると良いですよ。
勝手口のドアも換気しやすいタイプのものがありますので、検討してみてください。

防犯を気にされる方は、丈夫な格子付ならカギを掛けたままでも換気できるし、窓以外にも通風口がひとつ余分に確保できます。

ね？そんなに難しい話ではないでしょ？
毎日悩んでプランを考えるなら、通風のことも考えてみませんか？
家が完成して住みはじめてると大きな差がついてくるのです。